

女性会連盟ニュース

## ひびき



第 24 期 主題「神の恵みによって共に生きる」

～喜び、励まし合い、思いを一つにし、平和を求める～

主題聖句：ローマの信徒への手紙 6 章 8 節

発行：日本福音ルーテル教会 女性会連盟

中原通江

## 宣教の一丁目一番地

会長 中原 通江

ルーテル教会の牧師は神の召命を受けて、ここ日本ルーテル神学校で学び、全国の教会で牧会の御業に励まれています。私たち女性会は、教会に協力して福音の宣教に努力する大切な働きを期待されております。

このたび神学校の全面的なご協力を得て、現代的な課題についても学びを深めることができました。個人も団体も主によって結ばれていることを実感し、大いに励まされ、元気をいただきました。心よりの感謝とともに、3人の神学生と神学校の未来に、主のお導きが豊かにありますようにお祈りします。

開会礼拝…ルーテル学院大学チャペル



## 主の祝福の器として

日本ルーテル神学校 校長 石居 基夫

今回、女性会連盟からのプロポーズをきっかけに、「信徒の生きる教会」をテーマにした私たち神学校の修養会に交わりのひと時を戴きました。

教会は、神様の礼拝によって生かされていく信徒の交わりです。そして、具体的な活動も奉仕も、この信徒の自発的で自由な働きによって作り上げられていくものです。女性会に限らず、信徒の自由な運動体こそがキリストの体としての教会を動かしてきました。

「五つのパンと二匹の魚」のように、一人ひとり、個々の教会の力は小さくとも、主が大きな働きへと祝福し用いられる幸いを、連盟のお働きに学ぶことができました。

ただ、時代の移り変わりとともに、信徒、特に女性の方々の生活は大きく変わってまいりました。女性会、壮年会、青年会という旧来の枠組みを問いつつ、これからの時代に、どうしたら信徒の一人一人を主の祝福の器としていくことができるのか。共に考えて参りたいと感じました。

ありがとうございました。





### 神学生の皆さんから



## つながりを大切に

日本ルーテル神学校 4 年 森下 真帆

女性会との交流会に参加させていただき、ありがとうございました。交流会では女性会の歴史と、女性会を支えてきた方々について、多くのことを教えていただき大変勉強になりました。改めてお話を伺って、女性会が長い歴史とあつい信仰をもって活動されてきたことがよくわかりました。また、女性神学生や女性牧師の支援も長年行われているとのことで心強い気持ちです。

交流会では活動のよろこびと共に、女性会の置かれている厳しい現状についても伺いました。宣教研修先であった札幌教会の婦人会の皆さんが困難な状況の中で前向きに活動を続けられていたことが思い出されます。

女性会が最も大切にされているのは「つながり」とのことでした。これから宣教の場に遣わされていく私ですが、つながりを大切に生き生きと働かされている女性会の皆さまの姿を見習って、がんばってまいりたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 交流会での学び

日本ルーテル神学校 1 年 笠井 春子

神学校一年生の笠井春子です。女性会連盟の働きに感謝します。

神学校での女性会の方々と交流会では、女性会連盟の成り立ちや、活動形態、現在の働きなどを学びました。私は女性会連盟について全く無知でしたが、女性会の方々に丁寧に教えていただき本当に勉強になりました。

印象深かったのは、女性会連盟の成り立ちについてのビデオを拝見した際に知った、日本で最初の女性牧師のことでした。

神様からの召命を受け、女性である私も当たり前のように神学校へ入学し、牧師を志す身となっています。

しかし、女性が牧師になることを妨げるものがなくなるまでには、最初の女性牧師の決意や覚悟、多くの女性の働きがあって、ようやく成立していったものなのだと改めて学びました。

短い時間でしたが、多くのことを教えていただき、ありがとうございました。

## 引き継ぐ恵み

日本ルーテル神学校 1 年 三浦 慎里子

このたびは、女性会連盟の皆さんとの交流の機会を設けていただき、誠にありがとうございました。女性会連盟の成り立ちや現在の取り組みについての映像を拝見し、長い歴史の中で時代に合わせた変化を遂げながら、ルーテル教会の女性たちがいかに大きなお働きを担ってこられたかということを知ることができました。

私の前職が大学職員で、海外留学や就職支援を通して大学生と関わっていたこともあり、女性会連盟の海外支援や未来を担う若い世代への支援については特に興味深くお話を聴かせていただきました。全国の女性会がつながりを絶やさず、昔から受け継いできた恵みを若い世代にも引き継いでいくことがこれからの教会を盛り上げる大きな力になるのだと思います。

女性会連盟の皆さんのお働きに感謝し、今後の更なる発展を心よりお祈り申し上げます。

## 合同役員会 =主な内容=

### ◇各教区の報告(状況)と課題

- ・女性会を休会しましょうと言われた。
- ・教区 3 分の 1 が休会している。(東、九州)  
**理由** 連盟とつながることが負担!?  
 役員をしたくない。  
 →役員を受けることは神様への応答と受け取ることが出来ると良いと思う。
- ・「会報のみ」の人が増えている。  
 →連盟とつながりを持つようとしている。
- ・ご高齢の方への訪問をしている。  
 →信仰継承は、子どもに限らず、同世代の友達へ…と考えても良いと牧師に言われた。顔と顔の見える関係も大事ではと思っている。
- ・老人ホーム等のボランティアをしている方々にスピーチをしていただいた。女性会員のボランティア活動を通して身近に出来ることをお伝えくださった。
- ・TNG への献金の集め方 (アイデア)  
 「こどもの日」近くに、教会で覚えて献金をしてもらおうと、ご協力いただける。

### ◇総・大会について (下記の囲みを参照)

- ・日程について、連盟会長より発表。
- ・九州教区の会長より  
 会場が決定した。  
 宿泊は、各自で確保していただきたい。
- ・議案 (第 24 回総会からの持越し議案)  
 ○会則の変更について (北海道の件)  
 →内規で対応していきたい。  
 文言を検討。  
 ○正議員数について
- ・その他  
 教区の新会長さんが集まり、顔合わせをする時間を作って欲しい。

### ◇ホームページについて

- ・掲載の英文会報について  
 活用につながるようにしていくべき。
- ・掲載の会報について  
 今期を含め 3 期分とする。  
 掲載ページは、期の役員で決める。

### ◇サバ訪問について

- 10 月に有志 5 名ほどで訪問予定(自費)。  
 神学生 1 名を招待し、お連れする。  
 (神学生の旅費は、連盟が負担。)  
 「支援から交流」となることを願いつつ。

**決まりました!**

日本福音ルーテル教会 女性会連盟

## 第 25 回 総・大会



日 時：2021 年 6 月 8 日(火) 13：30 開会礼拝

↓

6 月 9 日(水) 15：00 終了

開催場所：熊本テルサ

※宿泊は、各自で確保ください。